



党幹部座談会 統一地方選 大勝利めざして

4月の統一地方選と夏以降の東北復興選舉に断じて勝利を。今回の政治決戦の意

義や、重要政治課題への対応などについて党幹部が語り合つた。

山口那津男代表

今年は、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵略、世界的なインフレなど国内外の難局を乗り越え、日本が再生への歩みを着実に進めていくターンングポイントになる年だ。公明党にとっては、来年の統一地方選を断じて勝ち抜き、強靭な党を築いていきたい。

石井啓一幹事長

新型コロナの感染状況は依然、楽観できないが、明るい兆しも見え始めている。行動制限がなくなつたことで社会・経済活動が活発化している。公明党が強く推進してきたワクチン接種や治療薬の普及及び、こうした動きを後押ししていることは間違いない。

北側一雄副代表

国际情勢を見ても、「分断」を修復する動きが出始めている。昨年11月には、米中両国の首脳が3年5ヵ月ぶりに対面で会談し、日中、日韓首脳会談も約3年ぶりに行われた。こうした「希望の芽」を着実に育むことが政治の責任であり、今年の大好きな課題だ。

高木 今年、日本は国連安全保障理事会の非常任理事国や、5月に広島で開かれる先進7カ国首脳会議(G7広島サミット)で議長国を務めるだ

決意を語り合う(左から)高木、北側、石井、山口、赤羽、各氏

連立の公明、生活現場に寄り添う

要として公明、生活現場に寄り添う

4月の統一地方選と夏以降の東北復興選舉に断じて勝利を。今回の政治決戦の意

義や、重要政治課題への対応などについて党幹部が語り合つた。

日本再生 安定政権でこそ

極端な政治的分断はめられない

(1面付「日経」)

と言われるのも、自公政

権が幅広い民意を拾い、

政治を安定させてきたか

らにほかならない。

山口 安定政権の“要”

となるべく公明党が最も

重視してきたのは、「大衆とともに」の視点だ。生

活現場に寄り添い、小さな声に真摯に耳を傾けな

がら、国会議員と地方議員のネットワークを生か

して、それを政策に反映

する。この立党精神を体

現する公明議員の実践

そのものが社会の分断を

防ぎ、安定をもたらして

いる。その事実に誇りと

自信を持ち、徹して現場

に飛び込んでいきたい。

山口 選ばれ、非常に安

定した國なのです。これ

だけの人口と経済力があ

る国としては、珍しい

（月刊誌「潮」1月号）

本が再生への歩みを着実に進めていくターンング

ポイントになる年だ。公

明党にとっては、来年の統一地方選を断じて勝ち

抜け、強靭な党を築いていきたい。

石井 国際社会全体が危機に直面し重大な岐路に立つ中、「日本は諸外

國などの大きなりスクは抱えておらず、非常に安

定した國なのです。これ

だけの人口と経済力があ

る国としては、珍しい

（月刊誌「潮」1月号）

本が再生への歩みを着実に進めていくターンング

ポイントになる年だ。公

明党にとっては、来年の統一地方選を断じて勝ち

抜け、強靭な党を築いていきたい。

鈴木一人 東京大学公共政策大学院教授

との指

摘がある。危機の影響を抑えるには、政治が安定

し、対策を一貫して講じ

なければならぬ。自民、

公明両党の連立による安

定した政権運営がいかに

大事か改めて確認した

い。

月27日付）で「この10年

で10年。自民党幹事長な

どを歴任した大島理森前

衆院議長は毎日新聞（12

月27日付）で「この10年

で10年。自民党幹事長な

どを歴任した大島理森前